

未来へつなぐ持続可能なまちへ

市政運営方針

令和5年度の予算などを審議する市議会3月定例会が、2月27日に開会。山崎善也市長はこの日、新年度の市政運営方針を述べました。

コロナ禍の相反する課題に腐心

本市は昨年、大きな災害には見舞われなかったものの、世界各地で猛暑や大雨、山火事など自然災害が多発。さらに、新型コロナウイルス感染症のパンデミックやロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮の度重なる弾道ミサイルの発射など、わが国は前例のない難しい事態に直面しています。

また、物価高やエネルギー・食料不足など社会不安の高まりは、世界の国々に大きな影響を及ぼし、わが国、そして本市においても例外ではありません。とりわけ新型コロナウイルス感染症は、拡大と収束を繰り返しながら3年の

長きにわたり、社会的にも、経済的にも大きな打撃を与えました。この間、ワクチン接種等による感染予防対策に万全を期すとともに、社会経済活動をいかに維持していくかという、相反する課題に直面。アクセルとブレーキの使い分けに腐心した3年間でした。コロナ感染症も、この5月からは感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類への引き下げが決まるなど、アフターコロナの時代に移りつつあると期待。各種施策をスピード感を持って進めます。

DX・GXの実現へ

DX（デジタル・トランスフォー

メーション）社会とGX（グリーン・トランスフォーメーション）社会の本格的な到来に本市も備えなくてはなりません。デジタル技術の進展は、多様な暮らし方や働き方をもちだし、リモートワークやワーケーションによる田舎暮らしの実現や田園回帰の流れを加速させました。

また、ゼロカーボンシティ宣言自治体として、先人達が守ってきた大切なふるさと綾部を未来につないでいく必要があります。このため、市民、事業者と連携して温室効果ガス排出削減や再生可能エネルギーの活用など、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいかねばなりません。

ポストコロナのまちづくり

令和5年度当初予算は、第6次綾部市総合計画に基づくさまざまな事業を推進すると同時に、ポストコロナのまちづくり、子育て支援、DX、GXに対応した予算編成に心掛けました。

本年は、これまで種をまいてきた事業が実を結ぼうとしています。ハード面では、今春に里山交流研修センターが完成予定。また、長年の懸案であった市道宮代豊里

線の拡幅改良も完了します。さらに、JR綾部駅北側には、待望の新図書館、子育て支援拠点施設、地域交流センターの3つの機能を併せ持つ複合施設も今秋に完成予定。隣接する北部産業創造センターとの相乗効果も期待しています。また、新たな事業として、旧市民センターの跡地を活用した公園整備に着手。このほか、綾部幼稚園の跡地にはこども発達支援拠点施設を、西部地域には地域振興と消防防災機能を併せ持つ拠点整備事業も計画しています。

社会情勢に創意工夫で対応

一方、本市の財政は、平成30年7月豪雨災害の厳しい状況からは回復したものの、一般のエネルギーや物価の高騰、社会保障費の増大など財政需要はますます増加し、依然として厳しい状況です。これに対処するため、過疎対策事業債や基金等あらゆる財源を活用。あわせて、国や府、民間企業、大学等との連携によって事業を展開し「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち…綾部」のまちづくりに取り組みます。とりわけ本市の少子化対策はまさに待ったなしの状況です。将来を担

3つの眼で時代を切り開く

卒業を控える中学3年生への「市長のふるさと講座」の中で、「3つの眼」の視点を持つことの重要性を伝えていきます。世界を俯瞰する「鳥の眼」、地域特性を理解する「虫の眼」、そして時代の流れや価値観の変化を見極める「魚の眼」。この3つの視点はまちづくりをする上で重要です。常に国内外の情勢にアンテナを張り、市民に寄り添いながら、新しい時代を切り開いていく姿勢で市政に取り組みます。

表彰式表彰



1/所信を述べる山崎市長＝2月27日、本会議で
4/令和5年度、脱炭素への気運を高めるため、あやべゼロカーボン表彰を創設
3/令和4年度に工事完了予定の宮代豊里線
4/令和5年春に完成予定の里山交流研修センター
5/令和5年秋に供用開始予定の（仮称）駅北複合施設（イメージ）
6/市内の中学生へのふるさと講座



ご存知ですか

綾部市市民憲章

市民憲章は昭和48年9月、綾部青年会議所が制定を提唱し、翌49年11月に市が制定しました。制定から約50年。当時の市民の願いが込められた市民憲章について、考えてみませんか。（記事ID1377）

綾部市市民憲章

私たち綾部市民は、丹波の美しい山河と豊かな伝統をもつふるさとを誇りとし、郷土愛に燃え、自然と人間が真に調和する新しい田園都市の実現をめざして、ここに市民憲章を定め、これを守り実行することを誓います。

- 平和をねがい、祈りのあるまちにしよう。
- 自治を高め、心のつながりのあるまちにしよう。
- 教育をたいせつにし、文化のかおるまちにしよう。
- 環境をととのえ、健康のあふれるまちにしよう。
- 産業をおこし、豊かなくらしのあるまちにしよう。
- 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまちにしよう。

市民の総意として制定

市民憲章は、前文で本市の目指す方向を明らかにし▽平和▽自治▽教育▽環境▽産業▽計画の6つを目標として掲げています。制定に当たり市民の総意を反映させるため、千人を超える市民から一万項目に及ぶ意見を集約。専門家や市内26団体で構成する「市民憲章等制定協議会」を中心に一年間議論を重ねて完成しました。本市の市民憲章の一番目は「平和」。日本の自治体で初めて世界連邦都市宣言を行い、平和を市是とする本市の特徴が色濃く表れています。

ユニークな事業を展開しPR

市民憲章等制定協議会は、憲章の制定と同時に「綾部市市民憲章推進協議会（以下、協議会）」に改称しました。以降50年の間は協議会を中心に▽市の中パレード▽記念式典▽各種講演会▽機関紙の発行▽などを実施。昭和56年の平和祈願の集いや、平成4年の地球市民の集いの初開催にも関わり、現在も続く特徴的な事業の推進に尽力しています。また、協議会は平成16年、市民



綾部青年会議所は令和元年、市民憲章の概念を視覚的にデザイン化したロゴ（図）やアイコンを作成。同会議所のホームページで公開中です

参加型劇「塔のある街」を上演、平成18年には映画化に成功。近年は、PR動画や市民憲章をユニークに紹介するパロディ動画を公開し、市民に向けた啓発活動を精力的に続けています。

市は、令和3年に策定した第6次総合計画の施策の大綱を市民憲章を基に構成。本市が目指すまちづくりの指針に、市民憲章に込められた市民の願いを反映させています。

ゲームで楽しく市民憲章を学ぶ

同協議会は2月26日、西町三丁目のあやべ・日東精工アリーナ（市民センター）で、市民憲章フェスタを開催。市内の小学生50人が、ゲームで楽しく市民憲章を学びました。午後1時の部に優勝した「チームたまわ」と午後2時の部に



優勝の「バナナ3」の2チームが市民憲章マスターの称号を獲得。「たまわ」の3人は「優勝できてうれしい。これから環境のために、節電や節水を頑張りたい」と話しました。



明治38年 園庭での保育風景



大正6年 皇后陛下行啓記念



昭和25年 50周年記念式典



昭和52年 秋の大運動会



平成12年 100周年記念式典



令和2年 最後の生活発表会

思い出の園舎に別れ

綾部幼稚園が閉園

綾部幼稚園は、少子化や保育ニーズの変化などで園児が減少したことに伴い、本年3月31日に閉園します。122年の歴史に幕を閉じる綾部幼稚園の歴史を振り返ります。

同園を1万8661人が卒園

同園は明治33年、綾部町立綾部幼稚園として本宮町に開設されました。昭和25年の市制施行に伴い市立綾部幼稚園に改称。園舎は数度の移転を経て、昭和45年から現在の上野町に開設されました。

同園の幼児教育に対する評価は高く、平成2年には全国学校安全優良園を受賞しました。平成9年には地域に開かれた幼稚園を目指して「園開放日」を実施。平成10年には預かり保育を開始するなど、先進的な取り組みを進めてきました。平成12年には同園創立100周年の記念式典を挙行し、関係者が祝いました。

少子化や保育ニーズの変化受け決断

同園は、最盛期の昭和28年に407人が卒園。卒園者の総数は、1万8661人に上り、本市の幼児教育の一端を担ってきました。ところが、近年の少子化や核家

明治から続く当園の閉園は、残念でなりません。

100周年記念事業に保護者の皆さんと関わったことや、担任していた園児が高校生になり、所属する吹奏楽部のコンサートに招待してくれたことが大切な思い出です。

長きにわたり綾部幼稚園の教育にご支援とご協力をいただいた、すべての皆さまに感謝申し上げます。



令和元年度綾部幼稚園園長（現八田幼稚園長）松浦宏美